



伊是名村

議会だより

No.
187

発行 2025年9月

令和7年第2回定例会
第3回臨時会／第4回臨時会議決結果一覧
議会の動き
全国町村議会議長・副議長研修会
一般質問ダイジェスト
令和7年度北部市町村議会議長会
海外視察研修（台湾）
奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会
キラリ★いぜんっ子／編集後記

2～3

4

5

6～7

8



【花言葉】「信頼」「永遠の輝き」「ひたむきな思い」



7月を「島産品奨励月間」と定め、県下の「県産品奨励月間」と連携しつつ、島内の小売店や飲食店とともに、地域一体となった特産品の応援活動を実施した。

令和7年 第2回伊是名村議会定例会 結果一覧

令和7年第2回伊是名村議会定例会は、6月11日(水)～12日(木)までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は12件、うち報告1件、承認2件です。一般質問には1名の議員が登壇し村政について質問した。結果は次の通りです。

議案番号	件名	議案等の内容	審議結果
議案第29号	令和7年度伊是名村一般会計補正予算(第1号)	25,096千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ3,895,342千円とする	原案可決
議案第30号	令和7年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	2,274千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ238,171千円とする	原案可決
議案第31号	令和7年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	553千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ12,489千円とする	原案可決
議案第32号	令和7年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第1号)	1,185千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ499,041千円とする	原案可決
議案第33号	令和7年度伊是名村簡易水道事業会計補正予算(第1号)	(収益的収入及び支出) 簡易水道事業収益105千円減額し、合計144,962千円とする 簡易水道事業費用1,821千円減額し、合計92,275千円とする (資本的収入及び支出) 資本的収入8,300千円追加し、合計169,301千円とする 資本的支出1,716千円追加し、合計220,920千円とする	原案可決
議案第34号	令和7年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	(収益的収入及び支出) 下水道事業収益の営業収益2,653千円を営業外収入へ組替え 下水道事業費用の営業費用68千円を営業外費用へ組替え	原案可決
議案第35号	伊是名辺地総合整備計画の変更について	伊是名辺地総合整備計画において整備しようとする公共的施設の事業名及び事業費の額、辺地対策事業債の予定額変更の追加をするため	原案可決
議案第36号	伊是名村過疎地域持続的発展計画の変更について	伊是名村過疎地域持続的発展計画において、過疎対策に必要な計画本文の変更、事業名及び事業費の追加変更をするため	原案可決
議案第37号	工事請負契約の変更について (伊是名村ごみ処理施設基幹施設整備工事)	工事請負契約金額の変更 元契約に対する変更増額：5,984,000円 変更契約金額：186,604,000円 株式会社 川崎技研	原案可決
報告第1号	令和6年度伊是名村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和6年度伊是名村一般会計における12事業の繰越要因とその計算書の報告	報告
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村税条例)	伊是名村税条例の一部改正	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村国民健康保険税条例)	伊是名村国民健康保険税条例の一部改正	承認

令和7年 第3回伊是名村議会臨時会 結果一覧

令和7年第3回伊是名村議会臨時会は、7月7日(月)の1日間で開催された。
本臨時会で提案された議案は4件です。結果は次の通りです。

議案番号	件名	議案等の内容	審議結果
議案第38号	令和7年度伊是名村一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ11,355千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ3,906,697千円とする	原案可決
議案第39号	工事請負契約について (定住促進住宅(伊是名地区)1号棟建設工事)	目的:定住促進住宅(伊是名地区)1号棟建設工事 契約の方法:随意契約 契約金額:82,656,200円 相手方:株式会社 東江建設 代表取締役 東江 丈二	原案可決
議案第40号	工事請負契約について (定住促進住宅(諸見地区)1号棟建設工事)	目的:定住促進住宅(諸見地区)1号棟建設工事 契約の方法:随意契約 契約金額:72,551,380円 相手方:株式会社 東江建設 代表取締役 東江 丈二	原案可決
議案第41号	工事請負契約について (伊是名東部地区67号農道橋更新整備工事(R7)(その1))	目的:伊是名東部地区67号農道橋更新整備工事(R7)(その1) 契約の方法:随意契約 契約金額:136,400,000円 相手方:株式会社 高宝建設 代表取締役 高良 泰司	原案可決

令和7年 第4回伊是名村議会臨時会 結果一覧

令和7年第4回伊是名村議会臨時会は、8月15日(金)の1日間で開催された。
本臨時会で提案された議案は8件、うち陳情2件です。結果は次の通りです。

議案番号	件名	議案等の内容	審議結果
議案第42号	伊是名村職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	伊是名村職員等の旅費について、国内外の経済社会情勢に合わせ、旅費の支給を行うため	原案可決
議案第43号	伊是名村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	伊是名村特別職の職員で常勤のもの給与について、国内外の経済社会情勢に合わせて、旅費の支給を行うため	原案可決
議案第44号	伊是名村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	伊是名村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償について、国内外の経済社会情勢に合わせて、旅費の支給を行うため	原案可決
議案第45号	委託業務契約について	目的:伊是名村デジタル防災行政無線基地局機能強化事業 契約の方法:随意契約 契約金額:157,080,000円 相手方:株式会社 興洋電子 代表取締役 古舘 和広	原案可決
議案第46号	物品購入契約について	水槽付き消防ポンプ自動車の購入については、伊是名村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規程により議会の議決を必要とするため	原案可決
議案第47号	工事請負契約について	目的:海岸保全施設整備工事(R7-1) 契約の方法:指名競争入札 契約金額:88,000,000円 相手方:有限会社 タカラ建設 代表取締役 高良 富三	原案可決
陳情第1号	島産品の優先使用について(要請)	島産品の啓蒙啓発	採択
陳情第2号	県産品の優先使用について(要請)	県産品の啓蒙啓発	採択

議会の動き

令和7年6月

- 6日(金) ・議会運営委員会
- 10日(火) ・令和7年度伊是名村教育懇談会(議長)
伊是名村産業支援センター
- 11日(水) ・第2回定例会(～6月12日(木))
- 23日(月) ・令和7年度 第56回伊是名村戦没者慰
霊祭 伊是名村「慰霊塔」



令和7年7月

- 1日(火) ・島産品奨励月間に伴う「島産品優先使
用の要請活動」(副議長)
伊是名村役場公室



- 2日(水) ・令和7年度北部市町村議会議長会海外
視察研修(～7月5日(土))(議長・局長)
- 7日(月) ・第3回臨時会
- 9日(水) ・令和7年度奄美・やんばる広域圏交流
推進協議会総会(議長) 奄美市
(～7月11日(金))

令和7年8月

- 7日(木) ・北部市町村議会議長会 令和7年第2
回理事会・定例総会(～8月8日(金))
(議長・局長) 伊平屋村
- 9日(土) ・第26回いぜな尚円王まつり
(～8月10日(日))



- 15日(金) ・第4回臨時会
- 19日(火) ・町村議会正副議長・正副委員長研修会
南風原町中央公民館
- 26日(火) ・北部広域市町村圏事務組合と公立大
学法人名桜大学との懇談会及び懇親
会(議長) 公立大学法人名桜大学

全国町村議会議長・副議長研修会

議長 潮平 そのみ 副議長 伊禮 正徳

研修会は5月27日東京国際フォーラムで開催された。県内の町村から正副議長及び事務局職員合わせて64名が参加し、全国からは1964名の参加との報告。

今年は平成7年に発生した阪神・淡路大震災から30年の節目の年となり、例年以上に国と地方が一丸となって防災・減災対策の機運を高め、それぞれが、国民の生命・財産を守るための取り組みを強化する必要がある。

研修会では3題の講話があり、はじめに「地方公共団体における防災・減災対策及び災害時の役割と総合防災情報システムの活用」と題して内閣府防災担当、松本氏により行われた。今後、大規模な被害が予想される南海トラフ巨大地震や首都直下地震などに備え、防災業務の企画立案機能を飛躍的に向上させ、平時から不断に万全の備えを行うことが必要不可欠と強調。

次に「平成からの災害に学ぶ復興・復興まちづくりの課題」と題して明治大学名誉教授 青山

氏の講和では、災害時での常に想定外に備える危機管理のあり方と災害対策基本法について学んだ。さらに「災害と議会・議員の役割」と題した同志社大学名誉教授 新川氏の講和では、議会は災害にどのように立ち向かうのか、被災時の議員の役割や活動などについて学んだ。

研修を終えて、いつ何時、発生するか予期せぬ災害に万全な体制を備え、災害に強い村にすべきであり、議会は常に執行機関の防災対策との連携強化を図ることが大事であると実感した意義深い研修会であった。

以上、研修報告と致します。



北部12町村正副議長



研修会場



たから さない 議員
高良 真伊

- Q1 司法書士相談会の開催
- Q2 軽量鉄骨住宅
- Q3 高校生海外短期ホームステイ
- Q4 モクマオウ・ギンネム・つる性植物の伐採

Q1 高良真伊議員

不動産相続、売買後の所有権移転がなされず、村経済、行政運営、地域環境へ支障をきたしていることもあり、行政にて1から2ヶ月に一度、司法書士相談会を開催してはと考えるが村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

沖縄県司法書士会では3自治体において、月に1回、曜日、時間を定め、相談会を開催しています。離島での巡回相談は可能か相談したところ、役員会において決定する事項であるというこの回答でした。なお、相談会を開催するにあたり、旅費や経費等も発生しますので、相談を希望される方が村内にどのくらいいらっしゃるのか、その辺のニーズも把握したうえで検討してまいりたいと考えております。

Q2 高良真伊議員

伊平屋村では令和4年度の1年間で軽量鉄骨構造住宅2DK戸建て住宅が6棟造られております。本村も定住

促進住宅を軽量鉄骨造りにすることは村財政軽減、建築期間短縮、住宅不足解消へ寄与するものと考えているが村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

今後の定住促進住宅の建築については、鉄筋コンクリート造に限らず、ご質問の軽量鉄骨住宅工法も含め、あらゆる建築方法を設計段階から比較検討して、費用の軽減や工期短縮ができるよう努めて参りたいと考えています。

Q3 高良真伊議員

伊平屋村では海外短期ホームステイに中学生2名、高校生1名を派遣しています。高校生については、コロナ禍で海外派遣事業に参加できなかった当時の村出身中学生(現在高校生)まで募集枠を拡大し、意欲ある生徒の育成を継続していくの方針から、今後も高校生派遣をしていくとのこと。令和5年12月一般質問でも同様な質問をしましたが、再度お聞きします。本村も今後は高校生も含めて派遣してはどうか伺います。

A 照屋 巧教育長

村高校生を含めての派遣につきましては、現在の児童生徒数の減少、そして応募者も減少していることから、次年度からは伊是名中学校を卒業した高校生まで募集枠を広げ、国際性豊かな人材の育成と島のために活躍する人材育成を目的として実施を検討していきたいと考えております。

Q 高良真伊議員

募集対象を中学生から高校生まで広げて全体で2名ですか。

A 照屋 巧教育長

おっしゃるとおり、2名を派遣するということで次年度もやっていきたいと思えます。中学生が英検4級以上、高校生に関しては準2級以上という条件をつけて応募となり、その中でしっかり試験を行って選考していきます。中学生が増えるかもしれないし、高校生が増えるかもしれない、これはその時点で決定していききたいと思えます。

Q4 高良真伊議員

2017年3月、2021年6月定例議会にて同様の質問がなされ、当時前田村長は「景観保全の面からも継続的な管理が必要であり、今後の検討課題として前向きに進めていく」と答弁されています。現在チチン山周辺以外の村内いたる所でモクマオウ・ギンネム・つる性植物が景観を害しています。一刻も早い対策が必要だと思いますが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

村では各集落に対し中山間地域等直接支払事業により環境美化作業への助成を行っているほか、農用地においては、多面的機能支払交付金事業により、伊是名村土地改良区と連携して、共同活動等による伐採作業を行っています。しかし、単年度で村内農用地の全域をカバーできるわけではないので、継続的に取り組んで農村環境の保全に努めて参ります。

伊是名村議会 議長 潮平 そのみ

国内外の事例や事情を把握し課題解決への取り組みや地域振興のあり方について、最新で質の高い識見を得る目的で、令和7年7月2日から5日まで（3泊4日）の日程で北部市町村議会議長会主催による台湾視察研修会へ参加してまいりました。

1日目（7/2）が台南市までの移動、2日目（7/3）が農業部台南区農業改良場、新化果菜市场及び玉井青果市場の視察、3日目（7/4）が花蓮市役所及び佛教慈濟慈善事業基金会花蓮本部の視察、4日目（7/5）が帰沖という日程で行われました。各々の視察内容について報告いたします。

① 農業部台南区農業改良場

本施設は、台湾南部の農業振興を担う施設で農業技術の研究、開発、普及を行い生産性の向上、農家の所得向上、環境保護、そして消費者の食品安全の確保を図る取組を行っています。今回は、マンゴーやパイナップルなど亜熱帯果物の栽培技術の紹介、農産物を加工する上での作業の効率化を図るための機械設備等の見学及びマンゴーやパイナップルを使用して開発加工した食品等の紹介と実食を行いました。

当施設の視察を通して近年の気候変動に対応する為の品種の開発、スマート農業の確立、収穫後の鮮度保

持技術の確立、加工品の開発及び農家向けの研修や有益な情報の提供などは持続可能で安全な農業を構築するうえで極めて重要な事だと痛感しました。

② 新化果菜市场

2022年12月にオープンした台南市が管理運営する総面積8haの青果卸市場は「2020年国家卓越建築賞」を受賞した美しい市場であった。到着するやいなや職員の間温まる歓迎を受け施設内に案内されました。その施設内でひとときわ目に付いたのが冬瓜（トウモロコシ）と思いきやスイカの山積みで圧巻であった。施設内は天井が高く明るくて開放的で広々とした空間で180件程の店舗があり地域で生産された、野菜や果物が数多く取り扱われていた。また、市場内にはフードコートや台南の名産品を販売するショップも併設されていた。また、市場内の温度の上昇を抑



陳列されたスイカ

えるねらいで屋上には植栽を施すなどエコな建物であった。

③ 玉井青果市場

玉井青果市場は、台湾台南市玉井区にあり特にマンゴーで有名な青果市場であるが、他にもバナナ、ドラゴンフルーツなど、様々な新鮮なフルーツが取り扱われていた。小売市場で「相対」で値段を決めることもあるということ、雰囲気は県内の農連市場のようなものであった。台湾では5月から7月にかけてがマンゴーの最盛期であることからマンゴーの種類、量、安さは私たちの想像を絶するもので、日本の高級なイメージとはかけ離れていた。台湾では日常的に食される食材で、栽培法も露地が主であるためコストが低く抑えられているのではないかと思いました。

④ 花蓮市役所

花蓮市までは台北駅から電車で2時間30分かけての移動であった。台湾では来訪の客人を盛大にもてなすという風習が根強く市役所玄関前では暑い中、私達一行を市長をはじめ多くの職員が歓迎の踊りと拍手で出迎え非常に感動しました。

花蓮市は、昨年4月3日に発生した大きな地震に見舞われた際、被災

後の復旧対応の速さに世界中から注目を集めた都市である。地震発生から僅か3時間後には避難所の態勢が整うという驚異的な速さでの対応の背景には何かあるのかと興味深い思い事前に質問を投げかけ研修当日に回答を得ました。質問事項は1点目が被災者への補助金等の財源について、2点目が専門家を活用するに当たり協定等を締結しているのか。3点目が役所での災害対応について訓練を実施しているのか。である。1点目については、見舞金は大きく分けて民間の社会福祉団体及び公的機関の二つのルートがあり、公的機関の補助金については、国又は市レベルでの公開募金で賄っている。2点目については、各分野において、災害時に迅速な対応が求められるため事前に協定を締結している。3点目については、定期的に災害対応訓練を実施しており、特に台風や豪雨に対応した防災・応急措置訓練を中心に、地震を想定したシミュレーション型の机上演習を組み合わせて行っている。ということであった。

2018年に発生した大きな地震の時は、避難所を整えるまで数日を要したうえ、プライバシーが確保できてない状況に被災者からは不満が出たという。こうした教訓を基に官民連携した訓練を繰り返し実施することで現在の体制に繋がっている。正に備えあれば憂いなしである。

その主な活動資金源は、会員による貯金活動、国内外からの寄付及び大学の運営金の一部で賄うという。

花蓮市で昨年発生した大地震では、発生から僅か2時間後には自ら開発し備蓄していたプライベート空間を確保するための折りたたみテントを提供、また、昼食の提供、無料のマッサージやカウンセリング窓口の設置などいち早く救済活動を行っている。東日本大震災や能登半島地震の被災地にも赴き、支援した実績もあった。

本基金会は、台湾を拠点とする世界的な仏教系慈善団体で台湾で最大のボランティア組織である。また、医大、総合病院及び科学技術大学を運営。

⑤ 台湾佛敎慈濟慈善事業基金会



花蓮市役所



折りたたみテント

終わりに

日本では、ここ数年毎年のように自然災害が発生し、その都度テレビ等で避難所等の様子が放映されるが、毎回のように対応のあり方が課題とはなるものの状況はあまり改善がみられない。その原因が、今回の視察研修の中で見えてきたように思いました。是非、台湾の活動に学び復旧・復興がスピーディーにできるようになることを願いたい。

奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会

奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会が、令和7年7月10日(木)、奄美市名瀬の奄美観光ホテルで開催され出席しました。

同協議会は、歴史的、地理的、文化的に深い繋がりのある奄美地域とやんばる地域との連携を深める目的で設立され、情報の提供、観光PR事業及び交流事業等を行っています。

総会では、令和7年度事業計画及び予算など4議案が提出され可決されました。主な事業では、ヨロン・おきなわ音楽交流祭や奄美・やんばるスポーツ交流会が計画されており、スポーツ交流会については、本村に誘致するのも良いのではないかと思います。

島内視察では、宇宿貝塚、田中一村記念美術館、アマミノクロウサギミュージアムぐるぐる、奄美大島紬村、世界自然遺産センター等を視察しました。宇宿貝塚は、具志川島の貝塚を思わせ、アマミノクロウサギ、やんばるくいな、世界自然保護など、沖縄やんばると相通ずるものを感じました。

議長：潮平 そのみ



奄美・やんばる 12 市町村議長

キラリ★いぜなっ子

ザ・学生II

vol.39

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立沖縄水産高等学校に通うお二人です。

沖繩水産高等学校(3年生)
高良 航尚さん
(諸見)



高良航尚さんは沖縄水産高校の3年生です。将来のために役立つ資格や経験が得られることが志望動機となりました。

本島での生活は最初は不安でしたが、寮生活ですぐ友達もでき、離島の人も多かったのですがすぐに慣れました。休日には従兄弟のお兄さんやお姉さんによく遊びにも連れて行ってもらっていて、ホームシックはあまり感じなかったそうです。

入学当初は、自信がなくて自分から話しかけられませんでした。周りからすぐ話しかけてくれたので、その後

は自分からも積極的に話しかけられるようになりました。

学校では資格取得のために友達とライバル同士一緒に楽しく勉強しました。中学ではなかった文化祭を友達と一緒に見て遊んだことが高校生活での思い出です。将来の夢はまだ決まっていませんが、卒業後は専門学校に進学して、色々経験して決めていこうと考えています。

島を出てから、島の人たちや島の環境がとてもありがたいものだと気付かされました。いつかまた島に戻りたいと思います。

後輩たちには初めて島を出て、一から友達を作ることになるので不安かもしれないけどみんなたくさん話しかけてくれるので、友達ができるから大丈夫と思いを伝えてくれました。

沖繩水産高等学校(3年生)
仲田 香里奈さん
(勢理客)



仲田香里奈さんは沖縄水産高校に通う3年生です。将来の夢に近づき、多くの資格取得ができることが進学する理由となりました。

島を出て、寮生活3年目ですが、入学当時はホームシックになり泣いている日が多かったです。でも近くに兄弟や同じ寮に従兄弟の3つ子がいて、とても心強く安心して生活を送れています。

学校生活では、島の全校生徒が1クラス分ほどだったので、人の多さに不安もありましたが、色んな人に関わることが新鮮でとても

良い刺激になっていました。資格取得にも力を入れ、勉強してきました。授業や実習を通して知識と技術の両方を身に付けることができ、これまでの試験は全て合格しました！努力の成果を実感しています。

学校行事の「沖水祭」では、実習でマグロ1匹丸ごと捌く所からツナ缶を作り販売しています。行列ができ買えない人も出るほど自分達の手で一から作る事に誇りを感じます。

卒業後は、将来調理師になりたい夢があり、調理関係の専門学校に進学を考えています。

島の人達は、みんな家族みたくに支え合い、温かい環境で私にとって特別な場所です。島の後輩達には、その環境は決して当たり前ではないので感謝の気持ちを大切に頑張りたいとメッセージを伝えてくれました。

編集後記

沖縄初の大型テーマパーク「ジャングリア沖縄」が7月25日に近隣の今帰仁村に開業した。総面積は、東京ディズニーランドやUSJを上回る規模である。平年度1年目の経済効果は3,150億円と試算されている。開業から約1ヶ月余、懸念された会場周辺の交通渋滞等は無いものの、暑さ対策や入場者制限等の課題があるようです。

ジャングリア沖縄の開業による私たち伊是名村の観光産業の振興や経済波及が期待されると共に沖縄の「経済の起爆剤」として期待されるジャングリア沖縄。暑さが和らいだ頃に足を運びたいがハードなアトラクションに体がついていけるかが心配だ。

広報常任委員長 上原 長良